

平成30年度の教育活動等に対する学校評価書

平成31年2月1日

学校法人日本文教学園日本文教幼稚園長 大友貴子
 学校法人日本文教学園 学校関係者評価委員長 下石精子

1. 幼稚園の教育目標

明るく・・・誰とでも遊び協調性のあるのびのびとした子
 つよく・・・活発で生きる力とたくましさのある子
 たくましく・・・善悪のけじめに勇氣ある行動がとれる子

2. 本年度の重点目標

- ・自分で考えて行動できる子に育てる
- ・一日一日を大切に、感動する保育を心がける
- ・子どもたちが、目を輝かせて遊び、自己発揮出来る環境を心がける
- ・出来ることだけでなく失敗もたくさん経験させ、その中から学ぶ意欲のある子に育てる
- ・心身共に健康に育つよう身体を使った遊びをする
- ・基本的な生活習慣の確立をしっかりとる

3. 自己評価とそれに対する学校関係者評価結果

A 十分に評価があった B 成果があった C 少し成果がなかった D 成果がなかった

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善点	評価点	意見
保育の計画性	子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てをこうじている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて行動することを考え、工夫した保育を心掛けているが、子どもたちがより表現豊かに遊べるようなおもちゃや環境を考慮していきたい ・一人ひとりの今の姿を理解し、日々の保育の振り返りを大切に、今後に活かしていく ・トイレトペーパーの量や使い方が上手くできていない子が見られる 指導が必要 ・常に新しいことに敏感に反応する子ども達なので、マンネリ化にならないように配慮していく 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日常を大切にした教育活動の展開を図っている ・マンネリ化を打破し、新しいことにチャレンジして欲しい ・毎月の指導計画表が出ていて、園でどのような活動をしているのか、何の歌を歌っているか家庭でも話し合うことが出来てありがたい ・靴をそろえる・挨拶・人前での挨拶など当番活動や誕生日会などを通して、身に付けて下さり家庭での行き届いていない面までご指導下さり助かる
	園の教育理念、教育方針に従って目標を設定している	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程等子どもの実態・地域性などを考え、しっかり見直す必要あり ・保育のねらいが曖昧にならないようにする ・手作りの良さを生かし、できるだけ手を加えたものや手作りのものを考えているが、準備に時間がかかる 時間の使い方等考慮 ・保育者間での連絡が取れていない・全員が 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのやる気・好奇心・感動する心をはぐくむぶんきょう農園での活動は、素晴らしい 出来るだけたくさん経験をさせて欲しい ・園での教育目標が良く理解できている